



フロスの必要性にママたちも納得!

歯周病について説明するよりもっと大切なこと

「将来どんな子に育ってほしい?」
ママ教室でグッペリ活動をするときは、必ずこの質問をします。「歯周病という病気があつて……」なんて切り出しても、全然興味が湧かないですね。まずは「子どもにはずっと元気でいてほしい」など、願っていることを口に出してもらいます。そして答えが返ってきたところで口腔内の話につなげるんです。「実は、元気の源はお口なんですよ!」
ママたちは元々、お子さんの食べる物についてはとても敏感。健康のために有機農法のお野菜を使っていたりします。でも、お口そのものに関してはちょっと違う。仕上げ磨きが大切だと知っているし、カリエスにさせたくないと思っっているけれど、ずっと健康でいるために「という意識はあまりないんです。まさにその意識を変えるのが私の役目! 歯周病の説明以上に大切なことだと思っています。」

子どもの将来の健康に関わると知れば、ママの姿勢が変わる!

口腔ケアは、子どもが幸せな人生を送るために必要なことのひとつ。それがわかると、話を聞くママたちの姿勢はグッと変わります。歯肉縁下に汚れが残っている写真を見る目は真剣ですよ。フロスの練習にも一生懸命取り組んでくれます。「子どもにとつて必要なことだから、まずは私がしっかりしなくちゃ!」という意識が芽生えるんですね。「嫌がるときはどうしたらいい?」「フッ素ってどうなんですか?」と質問がどんどん飛び出して、私もすごく充実した気持ちになります。
こうしたGoodbye Perioの活動を通じて、相手を知ってやっぱり大切だなあと実感しています。これからも、その人の生活や将来を見据えながら「今聞けてよかった」と言われるような話をしていきたいですね。幸い私は人が好きなので、歯科衛生士はもってこいの仕事だと思います!

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく!

Goodbye Perio Project

お口の健康を守る価値は、歯科衛生士を起点に広がります!
あなたもGoodbye Perioプロジェクトのメンバーになりませんか?

登録は <http://perio.tuftclub.jp> で!

歯科衛生士(臨床歴24年)
渡邊 喜怒香さん

「そうそう、こつこつという話が聞きたかったの」という言葉が次への原動力に!

「歯科医院へ来ない人にも、自分から積極的にアプローチしなければ!」
そう話すのは、渡邊喜怒香さん。
助産師をしているところが定期的に開くママ教室で時間をもらい、歯周病予防の大切さを伝えていきます。
歯ぐきケアへの知識がないママたちを引き付けるため、どんな工夫をしているのでしょうか。

